

2025 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | | |
|--|------------|-----------------|-------------------------------------|------|-----------------------|--------------------------|
| 学 科 | バイオ・再生医療学科 | | 科目区分 | その他 | 授業の方法 | 講義 |
| 科目名 | キャリア開発講座Ⅲ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対象学年 | 2年 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 402教室 |
| 担当教員 | 和田 有矢 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>就職試験で実施される筆記試験は、SPI試験を採用している企業が多く、SPIは数学などの能力を問う非言語能力試験と、国語力を問う言語能力試験の二種類が実施される。本講義では、特にこの非言語能力試験の対策に重点を置き、非言語能力試験の文章問題が解けるようになること、そして就職試験の筆記試験を通過するために、必要な基礎的な知識を身につけること目標とする。</p> | | | | | | |
| <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1. 定期試験:60% 2. 小テスト:10% 3. 授業態度:10% 4. 出席状況:20%</p> | | | | | | |
| <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>SPI試験でよく見られる問題を、プリントを用いて学習する。</p> | | | | | | |
| <p>《授業外における学習方法》</p> <p>就職試験の筆記試験は、当然ですが、この授業を受ければ通過できるようになるという訳ではありません。理由は企業によって、筆記試験の合格点が異なったり、また難易度も異なるからです。もし、本気で第一志望の企業の試験を通過したいと思うのであれば、この授業以外に自分で、就職試験の参考書を買って、取り組むことを勧めます。</p> | | | | | | |
| <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>この授業は、自分たちで勉強する前の導入授業として捉え、就職活動は、さらに自分自身が授業以外で努力することが大切であることをしっかりと意識して、授業に出席してください。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 自分の実力を認識し、講義で到達すべき目標について理解することができる。 | プリント | | テストを見直し、不正解の問題を復習する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 実力診断テスト | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 割合、比率についての問題が解けるようになる。 | プリント | | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 割合、比率 | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 速度、旅人算についての問題が解けるようになる。 | プリント | | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 速度、旅人算 | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 場合の数、確率についての問題が解けるようになる。 | プリント | | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 場合の数、確率 | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 損益算、分割払いについての問題が解けるようになる。 | プリント | | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 損益算、分割払い | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|--|------|--------------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 仕事算、清算についての問題が解けるようになる。 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 仕事算、清算 | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 売買の条件、流水算についての問題が解けるようになる。 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 売買の条件、流水算 | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 年齢算についての問題が解けるようになる。 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 年齢算 | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 濃度算についての問題が解けるようになる。 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 濃度算 | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 法則性、クレペリン、分類についての問題が解けるようになる。 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 法則性、クレペリン、分類 | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 照合、置換、図形についての問題が解けるようになる。 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 照合、置換、図形 | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 図形の長ささと面積についての問題が解けるようになる。 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 図形の長ささと面積 | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 立体の表面積と体積についての問題が解けるようになる。 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 立体の表面積と体積 | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 本講義内容を理解し、就職試験の筆記試験に合格できるレベルの能力を身に付けることができる。 | プリント | プリントの問題を見直し、不正解の問題を復習する。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合演習を行い、講義内容の理解度を測る。 | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 本講義内容を理解し、就職試験の筆記試験に合格できるレベルの能力を身に付けることができる。 | — | これまでの授業内容を復習し、理解すること。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合演習を行い、講義内容の理解度を測る。 | | |